

## 令和3年度 就労継続支援B型 ペパーミント事業報告

### I 重点目標

1、利用者1人1人の作業内容を見直し、売り上げアップを目指す

#### [取組内容]

##### ・パン作業

今まで取り組んでいた作業工程の習熟度を見極め、次の段階へステップアップした。

焼き菓子においては、クッキー作り→シフォンケーキ作り→ケーキ作りと3段階に分けて、それぞれの作業工程で利用者の習熟度を見極めた。

##### ・室内作業

1人で取り組める作業、作業工程を細分化することで1つの作業を完成させるなど様々な方法で作業に取り組んでいる。

##### ・園芸作業

畑での野菜栽培には限界があるため、加工品作りに力を入れた。利用者が携われる作業工程が限られているため、できる工程に責任感が持てるように支援した。

#### [結果]

##### ・パン作業

パン形成だけでなく焼き菓子作りの作業工程を細分化することで、関われる利用者を増やした。また、新しい作業に挑戦できることで、向上心も見られた。習熟度を段階別に見極めることで、支援すべき点など職員間で共有した。結果、ケーキ作りまで関われる利用者が増えた。新商品のパン開発を行っているが商品化には至っていないため、その点は反省点としてあげられる。

##### ・室内作業

スムーズな流れができ、臨時で入る作業にも対応できるようになってきた。年間を通して作業のない時期があるため、その時期に何をすべきかが課題となっている。

##### ・園芸作業

漬物作りなどにおいて、自分で取り組める工程では積極的に取り組んでいる姿が見られた。

売上としては前年度と比べ、約40万減。支出面では、原材料費が高騰の為約20万増、新規利用者が3名増えたことにより、工賃支給額が増え平均工賃が下がった。コロナ禍における売り上げアップのための工夫が早急に求められる結果となった。

### II 実績

登録人数 32 名（令和 4 年 3 月 31 日現在）

	区分なし	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6
男性	2	-	2	5	3	2	-
女性	2	-	5	4	2	4	1

平均利用者数 28.6 人（28.39 人） 3 月より新規利用者 1 名増加

平均工賃額 20,443 円（21,057 円）

（）内は前年度実績

### III サービス内容

- ・生産活動の機会の提供（園芸・室内・パン）
- ・健康管理（健康診断の実施）
- ・口腔ケア

昼食後の仕上げの歯磨きを継続しているため、11 月に行われた歯科検診時に歯科医よりきれいに磨けていると評価された。

- ・排泄支援
- ・食事支援
- ・防災対策（避難訓練の実施・火災や地震を想定）
- ・機能回復訓練（理学療法士による訓練・言語聴覚士による訓練）

理学療法士による歩行訓練を実施。筋力測定などを行い、1 人 1 人に適した機能訓練を行っている。また、昼休みに筋力維持のための体操にも取り組んでいる。

- ・感染症対策
- ・歯科検診の実施(大分県口腔保健センター対応)

11 月に大分県口腔保健センターによる歯科検診を実施した。

- ・支援学校の実習生の受け入れ